

ベトナムで I.P.M.伊瀬専務理事が講師として日本の教育を普及いたしました！
～2018年8月19日 クアンナム省「日本教育経験の意見交換会」～

2018年9月10日

イベント：日本教育経験の意見交換会
会場：ベトナム クアンナム省ホイアン
日時：2018年8月19日 11:00-12:00
I.P.M.参加者：伊瀬専務理事、対馬名古屋事務所長

2018年8月19日、クアンナム省「日本教育経験の意見交換会」が開催され、大学講師歴26年の、当財団 I.P.M.伊瀬専務理事が講師として招待されました。

意見交換会では、まずクアンナム省の子どもたちによる開催の催しが行われ、クアンナム省副省長レ・バン・タイン氏の開会の挨拶から開始されました。会場には、クアンナム省の教育関係者が約140名、現地の高校生の約60名の参加者が集まりました。



開催の催し



参加者約200名の会場

第一部では、在ベトナム日本国大使館二等書記官 中馬 愛氏が日本の教育についての特色を講義されました。その中で、ヤマハ株式会社の島田 由羽希氏により、学生たちにリコーダーが配布され、日本の演奏指導を実演するなどの発表があり、第一部質疑応答のディスカッションが行われました。

つづいて第二部として、学校法人広島加計学園 中・高等学校教頭の林 純次氏が日本の教育の現状や課題や日本への留学などを講義されました。

次に当財団 伊瀬専務理事の講義により、主に日本の高等教育についての説明が行われました。日本の高等教育の構造や現状・将来や、「留学生30万人計画」に向けての留学状況や受入れ体制の説明が行われました。

とくに、留学については、入り口である日本留学試験や奨学金制度から始まり、出口である留学後の就職状況にいたるまでの一連の解説が行われました。また、「お金が稼げる」という誤った情報で留学を斡旋する業者に騙されないように注意喚起、正しい目的での留学をすることが重要であることを周知いたしました。これについては JASSO(独立行政法人日本学生支援機構)の依頼もあり、注意文のパンフレットも配布いたしました。

その他、高等専門学校や職業能力開発校などの専門技術教育についても説明が行われ、技能実習制度

も含め、日本においては専門技術教育でも、高い教育成果が得られていることを紹介いたしました。

その後、ベトナム人の学生に向けて、レ・ティ・ミン・ハン氏から日本での留学体験の紹介がありました。

引き続き行われた、第二部質疑応答のディスカッションでは、当財団 伊瀬専務理事、及び学校法人広島加計学園 中・高等学校教頭の林 純次氏を交えた討論会が行われ、ベトナム教育者から関心のあった日本の高等専門学校について、当財団 伊瀬専務理事より事例を交えた詳細な説明が行われました。



I.P.M. 伊瀬専務理事の講演



第二部質疑応答のディスカッション

最後に、同意見交換会の講師陣へ花束が贈呈され、閉会の挨拶として、クアンナム省教育訓練局局长のハ・タイン・クオック氏から、教育先進国である日本の教育制度を知る良い機会になり、ベトナムの教育制度の改善について、これを活かしていきたいという言葉があり終了となりました。



講師陣への花束の贈呈



クアンナム省教育訓練局局长のハ・タイン・クオック氏による閉会の挨拶

ベトナムでは、技能実習制度や教育を用いた詐欺行為が横行しております。この度、日本の教育制度について紹介し、正しい方向への普及活動ができたことは、大きな意義があったことと感じております。I.P.M.は、技能実習制度はもちろん、「人づくり」として、教育の分野にも国際交流事業を通じて、今後も国際貢献を続けて参りたいと考えております。

以上